

ICT活用プロジェクト研究会報告

2005年2月9日(水)「養護教育におけるICT活用の実際」のテーマで大阪府立岸和田養護学校の 小西 順 先生の研究授業がおこなわれました。

参加者は15名でした。授業を見せていただいたあと、自己紹介を兼ねて感想や質問の時間をとりましたが、熱心な質問に対し、小西先生は丁寧に答えてくださり、「講演内容がほとんど終わりました」といわれるほどでした。参加いただいた方が、それぞれの問題意識の中で授業を見ていただいたこと、それをうけて話していただいたこと、そして何よりも、その場で話しを聞いたこと、それらがいい雰囲気の研究会变成ったのではないかと思います。参加いただいた方それぞれが、いろんな思いを持ち帰っていただけたのではないのでしょうか。

府養研ICT活用プロジェクトにはメーリングリスト(以下 ML)があります。研究会以外でもEメールによって、希望者は互いにMLで意見情報を共有できます。(電子会議室のようなものです。)この記事はそのMLに書き込まれた内容を拾って当日の様子をお伝えしたいと思います。

(小西) 指導案のない公開授業、前代未聞だったのではないのでしょうかね。でも、それが、いつもの私達の授業の雰囲気をありのまま出す事が出来たのではないかと思っています。実は、この雰囲気をみなさんに見てもらえたのが、一番の今日の収穫だった様な気がします。さて、本日の公開授業を受けての質問、講演を通じて、私なりの思いをかなりの部分、お伝えできたと思っています。そんな訳で、今、充実感に浸っています。是非、みなさん、この手法(シミュレーションソフトを使った生活体験学習)を、現場で実践してくださいね。

(田村) 参加者にとっても「思い」が伝わったと思います。大事なのは、「思い」なんですよね

(平峰) 今日のような貴重な研究会の機会を企画して頂き、本当にありがたく思っています。今日のプロジェクターを使って複数の生徒または児童が自立に向けた学習ができることは、ものすごく驚きました。パソコンを使った学習の可能性がいろいろあることを教えて頂いた気がしています。ただ学習ソフトの自作は難しいので、子どもの興味や関心に対応した自作ソフトをより簡単、たとえば写真やビデオの張り替え等の変更で各自が使用できる汎用性がある自作ソフトがあるとうれしいです。ものすごく勝手な願いですが、そのような汎用性のある自作ソフトがあると、私のようにプログラム自体が難しい者でも、今、担当している子どもの興味・関心に合わせたものが作れて、そして結果的にたくさんの先生方のパソコン等を利用した学習方法の関心が高まり、そして個に応じた学習方法で、より多くの子どもの喜ぶ顔が今以上に見られる気がします。昨

年の8月の研究会で頂いた神座先生のマッキングソフト（FLashMax2004 版）は、いろいろと独自に加工できて私にはものすごく便利です。今後もそのソフトを使いたくてFLashMax2004 の正規ユーザーになりました。今回の研究会に参加して、ビデオを張り替えるようなことができる汎用性のあるものがあるといいなと思っています。見学後、今すぐに、学校で作ってみたいとなったものは、「マクドの店員さんに感謝のレター」（写真をクリックすると「ありがとうの声」が出てくるもの）です。自閉的傾向のある子の興味を引いてコミュニケーション力を高められそうな気がしました。小西先生、田村先生、本当にありがとうございました。今後もよろしくお願いします。

（金子）平峰先生、報告ありがとうございます。「くるくるクリック！」のワンクリック用は、小西先生の「ワンクリックで動かないんですか？」で生まれたんですよ。それまで、そういう発想が私にはなかったのです。今や、ワンクリックの方がアクセス件数は圧倒的に多いです。

（糸川）研究会に参加させていただきありがとうございました。研究授業で実際に生徒の様子を見せていただく事が出来て、大変勉強になりました。タッチパネルやプロジェクターのおもしろさが伝わってきて、生徒と一緒に授業に引き込まれてしまいました。帰ってから職場で話したところ、コンビニのソフトを使ってみたいという声を早速聞きました。私もFlashの勉強を続けて行きたいと思います。ありがとうございました。

（小西）平峰さんのからの、写真やビデオの差し替えで、より汎用性の高いソフトに出来ないかという件ですが、その通りだと思います。ところが、今回の私の「シミュレーションソフト群」は、ビデオ映像を多用しています。フラッシュのフレーム数は、一つの作品で数千から数万のフレーム数になっていて、その中でタイミングよく、ある特定のフレームにアクションを書いています。そんな関係で、平峰さんの要望には応えるのは、非常に難しいですね。もっとも、写真を使った作品、例えば、公開授業でお見せした、「写真と音声つきソフトレター」は、フレーム数は一つなので、簡単に汎用化は可能です。この講習を、今度のパソコン支援教室（2/12、10時、本校の自立活動室にて、今日ですが・・・）や、次回（未定、今日決まります）にしてみたいと思います。宜しかったら、ご参加ください。今後の「パソコン支援教室」の予定は、私のHP「障害児教育とパソコン」に随時載せる予定です。

（ICT活用研究会MLに参加しませんか？）

